第 139 回実践勉強会　実施レポート

共催　大田区薬剤師会・日本新薬株式会社

参加者 70 名

開催日時：2022 年 2 月 8 日（火）19:45～21:15　Zoom ウェビナー

『　非小細胞肺癌の最近の薬物療法

～内服薬を中心に～　』

東邦大学医療センター大森病院　呼吸器内科

磯部和順先生

【質疑応答】

① irAE が発現すると予後が良いとのお話がありましたが、指標にすることはありますか？

⇒irAE が発現する人の中には様々な種類のものが出る患者さんもいますが、そういう方のほうがやはり免疫チェックポイント阻害薬が効いていて、irAE が発現しない患者さんは効きが良くないという感覚はあります。

② 口内炎に対するスペシャル嗽液はどのように処方されるのですか？

⇒院内の PC で「スペシャル」と入力すると処方されるようになっています。中身については詳細は分かりませんが、伝統的なものが含まれていると思われます。

③ S-1 の副作用の流涙で手術をした患者さんを経験したとお話されていましたが、その方は常に涙が止まらないといった症状だったのですか？対応はどうされましたか？

⇒常に涙が出ているような方でした。呼吸器内科だけでは対応が難しいので、眼科の先生にも意見を聞きました。

④ 肺がんはたばこの影響があるとおっしゃっていましたが、電子タバコでも同様に影響があるのでしょうか？

⇒喫煙者は 4 倍肺がんのリスクが高いというデータもあります。電子タバコも普通のタバコと似たような有害物質が含まれているので、電子タバコでも同様に影響があると思われます。

⑤ スペシャル嗽液はアズノールよりも効果がありますか？

⇒アズノールよりも良いと思います。ちなみに見た目は青色ではありませんので、スペシャル嗽液にはアズノールは入っていないかもしれません。

⑥ EGFR-TKI の使い分けはどのようにされていますか？

⇒第一世代のイレッサ・タルセバと第三世代のタグリッソを比較した臨床試験が行われましたがタグリッソのほうがよかったので、1st はタグリッソを使用しています。肺炎や不整脈でタグリッソが使えない患者さんに対しては第一世代のお薬を使用しています。